

講義コード	1139	科目区分	社会福祉士関連科目
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツロンニ	(フリガナ)	タナカコウジ
授業科目名	社会福祉援助技術論Ⅱ	担当教員名	田中浩二
英文授業科目名	Social Work I		
基準年次(開講期)	2年生(後期)	履修形態	
曜日/時限/講義室	月曜日/4時限/324教室		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会福祉士, 相談援助, 専門職		
授業概要・目的	本講義は, 社会福祉士国家試験科目の「相談援助の理論と方法」(Theory and Methods of Social Work)の内容の基礎部分にあたる。相談援助における人と環境との相互作用に関する理論, 相談援助の対象とさまざまな実践モデル, 相談援助の過程とそれに係る知識と技術について, 基礎的に理解する。		
到達度評価の 評価項目	社会福祉士を目指そうとする学生に必要な基礎的な知識を習得する。本講義で基礎を学ぶことで, 他の関連科目における意識や理解を深めることにつながる。援助技術の内容と関連をしっかりと理解し, 以後の事例検討などの際に自ら用いることができるようになる。		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 授業の進め方, 履修上の注意, 評価の方法などを説明		
第2回	人間と環境について		
第3回	人間と環境との相互作用 生態学的アプローチ		
第4回	相談援助の対象		
第5回	様々な実践モデルとアプローチ①		
第6回	様々な実践モデルとアプローチ②		
第7回	相談援助の過程①		
第8回	相談援助の過程②		
第9回	相談援助における援助関係		
第10回	相談援助のための面接技術		
第11回	ケースマネジメントとケアマネジメント ネットワーキング		
第12回	アウトリーチと相談援助における社会資源の活用・調整・開発		
第13回	スーパービジョン 記録		
第14回	記録の技法とその他の技術		
第15回	まとめ 振り返り		
教科書・参考書等	新・社会福祉士養成講座第6巻「相談援助の基盤と専門職」中央法規出版		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	定期試験によって評価する。60点以上を合格とする。		
履修上の注意・ 受講条件等	的な概念の理解に困難を感じるかもしれないが, 気になったことばなどから, 自分で, 友人と一緒に考えてみる機会になればと		
成績評価の基準等	定期試験によって評価する。60点以上で合格。		
メッセージ	資格取得を目指す学生にとっては必修となるが, 資格取得を目指さない学生にも, 社会福祉士の活動を理解することができる科目である。		
オフィス・アワー			
その他			